



# まつにし 進路だよい

令和3年2月15日発行 No.11

松橋西支援学校 進路指導部

## 小学部の「キャリア教育研修」を御紹介します！

小学部では「小学部の子どもたちも、後々は必ず社会人となって、働く（人の役に立つ）生活が待っている」ということで、**キャリア教育**（=生きる力につける教育、人生の準備教育）の職員研修を行いました。

研修では高等部卒業生の様子を映像で見たり、進路先の支援員の方からの情報（現場の声）を参考にしました。その上で、**高等部卒業後を意識し小学部段階でできること**、しておいた方が良いこと、目の前の子どもたちとかかわり方等を考えてみました。3回の研修で紹介した内容を御覧いただき、皆さんもどのようなかかわり方がいいのかと一緒に考えていただければと思います。



### 研修① <就労継続支援B型からA型に

#### ステップアップしたR君の話>



R君は卒業後、あるB型事業所に入りました。最初は作業スピードや丁寧さに課題があったのですが、5年後にA型にステップアップすることができました。作業スピード、作業量、人間関係の面で向上したのです。ステップアップの要因を支援員さんは次のように分析されました。

- ① 仕事仲間（全員年上の方）との関わりが、R君の精神面を成長させた。
- ② 利用者や支援員とのコミュニケーションの中で、少しずつ自己発信ができるようになり、良好な人間関係が作れるようになった。
- ③ 働く生活を毎日送ることで協調性や生活力が高まり、それがまた仕事にいい影響を与えた。

R君はおとなしい性格の生徒でしたので、現場実習では報告やあいさつが上手くできませんでした。しかし、自分の仕事は地道に取り組むタイプでした。アフター支援で訪問した際に、たくさんのタマネギを前に黙々と皮むきしていたR君を見たことがあります。そんなR君、今では「事業所のアイドル的存在」だそうです。仕事に対する素直さ、ひたむきな姿勢が信頼を得たのではないでしょうか。

また、R君は週末に友達と買い物や魚釣りを楽しみ、趣味で友達とつながることができる生徒でした。社会人になってからは給料で大型テレビを買っています。「働く励み」を見つけているR君です。





## 研修② <就労継続支援B型で働きながら

### グループホームで一人暮らしを始めたMさんの話>

Mさんは卒業後、あるB型事業所に入りました。この事業所は、現場実習をした中で一番合う所でした。毎日休まず行っています。毎月の工賃（=給料）は約16,000円です（全国平均も同じくらいです）。障害基礎年金の2級（月額に直すと約65,000円）も受給しています。つまり、毎月約80,000円の収入があります。

そんなMさんは、昨年からグループホーム生活を始めました。必要経費は月に約50,000円なので、自分の収入で福祉的な自立生活を送っています。グループホームには、**包括型**（=日中の事業所の支援員さんがグループホームでも支援を行なうタイプ）と**外部サービス利用型**（=日常生活上の支援を外部のヘルパー事業所に依頼するタイプ）等、いくつかのタイプあります。Mさんは包括型の方です。週末は実家に戻って過ごしています。



Mさんは詩を書くのが好きです。在学中も興味があることをノートに書きとめてました。今はアイドルグループの曲の歌詞を丁寧に書き写しています（職場の休み時間も書く）。いつか自分の詩をインターネットで発表できたらいいねと家族で話しています。また、在学中は青春物の海外ドラマが好きでした。もしかしたら、ドラマの中の生活スタイルや自由な生き方への憧れが、今のグループホーム生活につながったのかもしれません。好きなことや憧れは未来を切り開くきっかけになるような気がします。



## 研修③ <事業所の方にうかがつた

### B型事業所で働くために必要な力とは？>

- あいさつができる（第一印象が大事）。
- できればトイレの自立。
- 興味関心をもつ（余暇の充実）。
- 場所を離れるときに報告ができる。
- 生活リズムを整える（勤務時間を守る）。
- できれば自分の名前が書ける（B型の利用契約書に自分で書けるから）。
- たくさんの経験をしている（将来の可能性が広がるので）。
- 家の手伝いができる（道具の使い方が分かる、手伝いを通して成長する部分がある、必ず役に立つ）。
- いろいろな学習経験をしている（時計、お金、計算等、こうすれば分かるという本人なりの理解する手段を見つけておく）。
- 親の見守りもポイント（「自分でできた！」という経験につなげるような見守り）。

「B型事業所での必要な力」については、学校・家庭・放課後等デイサービス等の連携機関とも一緒に取り組むと効果的かもしれません。将来を見据えた取組は「できるところから・できる範囲で・本人のペースに合わせて」でいきましょう。一步一步確実に。